



ver.180717





PDF

_pageCompare.pdf



どのように比較するかを選択します。

- 「強調」:差分箇所は強調色で塗りつぶします
- 「差分」:差分箇所はAfterで表示します
- 「青赤」:Beforeをマゼンタ、Afterをシアンで作成し重ねます
- 「囲み」:After上に、差分箇所を赤枠で囲みます。











・青赤









差分htmlを作成する場合にチェックします。複数のチェックも可能です。

「煽り」:煽り(アオリ、パタパタ)を表示します

「青赤」:Beforeをマゼンタ、Afterをシアンで作成

表示・非表示、移動、拡大、縮小、変倍、傾斜で調整できます 「交差」:BeforeとAfterを並べます





※推奨ブラウザはChromeです

10.8の古い環境のSafariでは表示が崩れます。 https://google-chrome.jp.uptodown.com/mac/oldより Google Chrome 34.0.1847.116 など 古いバージョンのChromeを取得してください

ブラウザ表示





ページネーション

拡大・縮小



表示・非表示



ドラッグして位置変更



変倍













※推奨ブラウザはChromeです

10.8の古い環境のSafariでは表示が崩れます。 https://google-chrome.jp.uptodown.com/mac/oldより Google Chrome 34.0.1847.116 など 古いバージョンのChromeを取得してください





処理方式:	煽り	囲み:	
● 強調 ● 差分 ● 青赤 ● 囲み	 □ 青赤 □ 交差 	(無	◯有

差分箇所を、赤枠で囲みます。 「強調」「差分」でのみ作成します。





















マッチングした箇所は、半透明になります。 その箇所をグレーにするか、カラーにするかを選択 します。

・グレー



















半調部の濃度を変更できます。

この値で処理されます(スライドバーを動かして値を変更します)

・グレー

・カラー

・処理方式

「青赤」



00

00

S.



30

00



50



00

· 謹 省 新 年



-

70







90







「青赤」の濃度調整も、ここのスライドバーで行えます 14

00

gir,



この値で処理されます(スライドバーを動かして値を変更します)

比較結果の画像サイズを指定します。100%は元画像と同じ大きさになります。 値が小さいと処理時間が短くなり、サイズも小さくなります。 ラフな比較や、サイズ制限がある場合などに使用してください。



PDFのページを画像化する際の解像度を指定します。 75が100%、150が200%、300は400%まで拡大してもジャギりません。 値が大きいと、ファイルサイズは大きく、処理時間がかかります。 通常は150、小さい文字は300、ラフな比較なら75と使い分けます。

CTE,INC.





ページ内全てマッチングした場合、 そのページを出力するか、しないかを選択します

CTE,INC.

2ページ目が差分が無いPDFの場合



2ページ目が差分が無いので、作成しません。

log.txtには次のように記録され、何ページがマッチしたかが分かります。









差分が過剰反応している場合や、 ノイズ的な点々が多く発生している場合、 削除処理を行います。





トリミング幅を、数値指定します。



入力した数値ピクセル幅で、周囲をトリミングします。 0または、数値以外の場合は処理しません。









この値で処理されます(スライドバーを動かして値を変更します)

誤差の許容値です。

「5」は、濃度5%以上の差があればアンマッチと見なします。 濃度5%未満の差はマッチングと見なします。



・無 位置補正を行いません。
 Before, AfterのPDFサイズが同一でないといけません。
 異なる場合、エラーメッセージを出力し、処理を中断します。





「無」に比べ、処理時間が大きくかかります。





(ホームページからもご注文を乗っております。IPL-GUP.3事をご覧ください。)

20

PDF限定

「版」は、版面内を比較します。 **PDFの比較時に有効**です。

PDF内の**Trim Boxの座標情報**を読み取り、 版面サイズを加工します。

この情報が無い、正確で無い場合は、 Trim Boxの座標情報ではなく「画像探査」 でサイズ加工します。 そのため、余計な反応が出る可能性があります。

正しい反応結果を出すためには、 Before, Afterの紙面サイズを同一に してください。



パラメータの	の保存			Save	
• • •	BeforeAfterCV Client	full		設定値保存	
終了 比較	比較処理 App情	報	Save As: Untit	led.conf	
Before (Old):			Where: 🛅 🦻	デスクトップ 🗘	
/Users/yukio/Desktop/Before.pd After (New): /Users/yukio/Desktop/After.pdf	if			Cancel	Save
/Volumes/group3	— #5 h				
処理方式: ● 強調	 ✓ 煽り ● 一 (1) ● (1)	囲み: ・一 有 ・強調色: 			Untitled.conf
 グレー ・カラー 拡大率%: 100 50 200 	10 35 90 25 100 300	・赤 ○黒 ○ マッチ出力: ・方 ○ 有 ○ 無 ・方 □ 四次化 ・方 □ 四次化 ・ ・ ・	青 〕 黄 PDFまとめ: 〇 有 ① 無	拡張子は必ずco	onfにしてくださ
mil®Ug dpi: ● 150 75 300 位置補正: 誤差: ● 無 有 版	75 150 400 1 1 20	又子F5済IC: ●無 ○有 ノイズ削除回数: ○0 ○1 ○2	R J A: 保存	クリック	



パラメータの読込み

BeforeAfterCV Client full	BeforeAfterCV Client full
比較與評 App情報	比較処理 App情報
終了 比較	終了
Before (Old):	Before (Old):
	/Users/yukio/Desktop/Before.pdf
After (New):	After (New):
u.b.t.	/Users/yukio/Desktop/After.pdf
面刀光:	西刀元: //olumes/group3
が現在す。 個り 回知・	
	グレー 0 カラー 10 35 90 ●亦 ○黒 ○育 ○更
私大学物: マッチ出力: PDFまとの: つまの 50 0200	孤大率%: マッチ出刀: PDFまとの: つ100 50 000
◆ 155 75 150 400 mm 15 位置接正: 服業: ノイズ制除回称:	◆ 150 → 75 → 150 → 400 → m → m → m → m → m → m → m → m → m →
	1 «/hmi version="1.0" ?> 2 * <params></params>
	3
ダイアログにDrag&Drop	5 <cout_patho- comp<="" desktop="" out_patho-<="" th="" users="" yukin=""></cout_patho->
уту цукевниgaвнор	6 <comp_type>normal</comp_type> 7 <comp_aori>True</comp_aori>
すると、読込みます Unt	itled.conf s <comp_bluered> <comp_cross>False</comp_cross></comp_bluered>
	10 <surround>False</surround>
	12 <match_alpha>40</match_alpha>
	13 <-Off_color>crimion 14 <-zoom_btn>1
	15 <zoom_value>0.5</zoom_value> 16 <match_print>False</match_print>
	17 <one_pdf>True</one_pdf>
	19 <dpi_value>75</dpi_value>
	21 <trim_value>0</trim_value>
	22 <data_type>MEDIA</data_type> 23 <threa_value>1</threa_value>
xml形式なので、テキ	・人トエディタで修止可能です
	26 <window_h>450</window_h>
	27 <window_w>610</window_w> 28 + 4/parama>



位置補正「有」と 誤差・ノイズ削除回数



位置補正「有」と誤差・ノイズ削除回数

位置補正:	誤差:	_		ノイズ削除回数:
○無 ●有 ○版	1	5	20	0 01 02

Regel-Par-d- Parameter Contraction

位置補正「有」で画像サイズが異なるものを比較できるようになりました。 結果はBefore(old)基準となります。

例:ページとその1部





24

Law Boy

・ 位置補正 有 & 誤差 1 & ノイズ削除回数「O」 で実行



・ 位置補正 有 & 誤差5 &ノイズ削除回数「2」 で実行





・ 位置補正 有 & 誤差1 &ノイズ削除回数「O」 で実行



BACV_RedBlue.htmlでも確認できます







Before







After







・ 位置補正 有 & 誤差 1 & ノイズ削除回数「O」 で実行











・ 位置補正 有 & 誤差5 & ノイズ削除回数「2」 で実行



・ 位置補正 有 & 誤差 1 & ノイズ削除回数「O」 で実行



例:データと紙スキャン

Before がPDFデータです。Afterは校了紙として紙に出力したものをスキャンしたデータです





・位置補正「有」ノイズ削除回数「2」許容誤差「15」



・位置補正「有」ノイズ削除回数「2」許容誤差「20」





紙スキャンは「青赤」がオススメ

紙スキャンの処理結果は前ページのように、パラメータを 変えても多くの反応が出て、分かりにくくなります。

この場合、処理方式を「青赤」にすると反応箇所が分かり 易くなります。

右は、位置補正「有」、許容誤差「15」、ノイズ削除回数 「1」で処理したものです。









・位置補正のポイント

Beforeの画像内容で「画像探査」しますので、 画像サイズが、Before > Afterだとマッチしない場合があります。 Beforeが傾いていると、反応が多くでます。

紙スキャンの場合、DTPデータをBeforeに、紙スキャンデータをAfterに入れてください。

また、画像探査するため、位置補正を行うと処理時間が多くかかります。 解像度を下げると、時間を短縮できます。



▶ エラーメッセージ

Before(old)が正しくありません。 After(new)が正しくありません。 出力先が正しくありません。 同じシリアルが起動しています! 正しいシリアル番号ではありません。 デモの使用回数を超えました。

評価期間が終了しました。

- ---> 未指定、存在しない場合に表示。
- ---> 未指定、存在しない場合に表示。
- ---> 未指定、存在しない場合に表示。
- ---> 同一ネットワークで、同じシリアル番号が起動しています。
- ---> 正しいシリアルを入力してください(p10参照)。
- ---> 21回目以降の処理時に表示。 継続的な使用には、購入し正規のシリアルを入力してください。 ---> 評価期間を超えたアプリ起動時に表示。

継続的な使用には、購入し正規のシリアルを入力してください。

・> エラーログ

== Error 2 == 画像サイズが異なっています。 ---> 新旧の画像サイズが同一でない場合に表示

位置補正「有」にするか、サイズを同一にしてください。

== Error 5 == Out Of Memory Error

== Frror X == メッセージ

- ---> 画像サイズが大きく、メモリ不足の場合に表示 拡大率や解像度を調整してください。
- ---> メッセージの内容のエラーが起きました。
- データ、パラメータを確認し、再実行してください。
- エラーが解消しない場合、product-support@web-cte.co.jpへ お問い合わせください。



→ 改訂履歴

2018.05.10 …… 個人版マニュアルより流用 2018.07.10 …… 個人版マニュアル180709版より流用 2018.07.17 …… 個人版マニュアル180711版より流用、修正

(株シーティーイー
〒112-0005 東京都文京区水道1-9-1
Tel: 03-5689-4161 Fax: 03-5803-3381
Mail: product-support@web-cte.co.jp

